

# 進路情報

(のぞみ)

## 希望 16号

令和 6年 7月24日 (水)

那覇市立松城中学校

### 《全学年》運は「信念」、「準備」、「連鎖」(野田 一夫)

## 県立高校「特色選抜」「求める生徒像・選抜方法(詳細版)」の見方

### 「特色選抜」詳細版(案)の公開

6月に各高校のホームページにて「特色選抜 [入学者選抜における求める生徒像・選抜方法(案)]」が公開されています。沖縄県は1・2年次の学習状況や実績も加味された判定となるので、1・2年生のうちから興味のある高校について確認してみましょう。(画像は首里高校・普通科)

#### ①求める生徒像 (アドミッションポリシー)

各高校、どんな生徒を求めているのかが記載されています。自分は、その求める生徒の条件に合っているのか各自で確認しましょう。

#### ②選抜において重視する観点

選抜される生徒が、どのような力を身につけているか、どんな活動をしてきたのか重視する観点があります。自分はその力を持っているのか、求めている活動をしてきたのか、振り返ってみましょう。

#### ③選抜項目・検査方法・配点

- ①・②の観点で条件がクリアできたら、どのような検査方法があるのか、以下の4つを確認しましょう。
- 各高校、学科の特性に合わせて学力調査の得点が2倍になる教科もあります。違いを確認しましょう。
  - 調査書に書かれている内容が得点化されず、部活動の実績や各種検定の取得、生徒会活動など、各高校で重視する内容が違いがあります。そもそも、その実績がない生徒は、選抜の対象になれません。
  - 諸活動について、特に実績が高い証明書の提出を求める高校もあります。実績を確認し、準備しておきましょう。
  - 面接内容については、自信をもって答えられるか考えてみましょう。

#### ④備考

備考欄に、特色選抜を希望する生徒への注意事項(出願要件)が記載されている場合があります。必ず目を通してください。

注1) 評定平均が要件ギリギリの場合、その他の項目で高得点をとる必要がある。

注2) 出席状況の条件がある学校もある

案

学校番号	学校名	課程	学科・コース	募集定員 (特色+一般)
23	首里	全日	普通科	360
求める生徒像・選抜において重視する観点	【求める生徒像(アドミッションポリシー)】 次代を拓く、知性と品性を備えた逞しい人物の輩出を目指す伝統校であることを理解して、自他を大切にしながら、他者と協力して、学業、行事、部活動など、様々な教育活動に積極的に取り組んで、自他の可能性を広げようと常に努力する生徒を求めます。 【選抜において重視する観点】 ○基本的な生活習慣が身につけており、中学校段階までの学習における知識・技能を十分修得し、上級学校への進学を目指している。 ○学校行事、生徒会活動や部活動、及び地域の活動等において実績を有する。 ○自他の可能性を広げるために継続的に努力しており、自己実現に意欲がある。 ②			
募集定員 (特色選抜)	72			
選抜項目・検査方法・配点	【各選抜項目における配点】 計 465 点 1. 学力検査 250 点 国語/数学/英語/理科/社会 50点満点 各教科50点満点×5教科 2. 調査書 215 点 ③ ア. 3年間の教科の評定 165点 ※音楽、美術、保健体育、技術・家庭は評定を1.5倍にする イ. 特別活動/部活動/資格取得 50点 -文化系・運動系・社会活動ともに県優勝・九州大会出場・全国大会出場及び表彰 但し、大会は中文連・中体連・国及び地方公共団体の主催・共催するものに限る。 -生徒会役員(会長・副会長・書記・会計) -資格:漢検・英検・数検 2級以上のみ 上記の実績を50点満点で加算する。 ※1項目を加算対象とする(賞状・認定証など実績を証明するものが必要となる) 上記1,2を基に、調査書の記載内容を考慮しながら、求める生徒像に照らして総合的に判断し、選抜する ④選抜項目・検査方法・配点 2. 調査書における「イ. 特別活動/部活動/資格取得」の配点については、別紙で定める。 ※3カ年の評定平均が3.8以上のものを受験対象とする。 (算出方法)評定平均=(1年~3年までの全科目の評定の合計)÷27(小数第2位を四捨五入) ④			
備考等				

特色選抜を考えている3年生は、三者面談で担任の先生と相談しておきましょう。(7月の進路希望調査で特色選抜(私立推薦)の希望調査済)。ただし、現在掲載されているものは「案」なので、変更の可能性もあります。10月に各高校からの募集要項が出たあと改めて確認しましょう。